

地域との連携強化に取り組む薬剤部

薬剤部は、「薬の責任者」としての重要な役割を24時間365日体制で担っています。令和5年4月に附属病院化されたことを受け、外来患者さまには保険薬局でお薬を受け取っていただく「院外処方せん」の発行を全面的に開始しました。それに伴い、保険薬局の薬剤師の方々との連携が非常に重要と考え、緑区薬剤師会のご協力のもと「緑区薬剤師連携勉強会」を立ち上げました。現在、4か月ごとに勉強会を開催し、連携強化を進めており、多くの薬局薬剤師の方々にご参加いただいています。ご案内はホームページの「病院からのお知らせ」にも掲載しておりますので、お気軽にお問合せください。

また、入院患者さまに対しては病棟業務に力を入れて取り組んでいます。入院後翌



薬剤部スタッフ

日までに、入院前に使用されていた薬剤の確認や、入院後の薬剤の組み合わせ、重複投与の有無などの確認を行い、患者さまが納得して服薬いただけるよう、ベッドサイドで丁寧に薬に関する説明を行っています。顔の見える薬剤師として認識していただけるよう、繰り返し病室に訪室し、日々努力を重ねています。

今後は、退院後の薬物治療が円滑に行えるように、退院時の病棟業務と保険薬局とのさらなる連携強化にも取り組む予定です。これからも、安全かつ安心な薬物治療の提供と

地域全体のスムーズな薬物治療に貢献できるよう努めてまいります。



地域の薬剤師の方々と共に学ぶ  
緑区薬剤師連携勉強会の様子

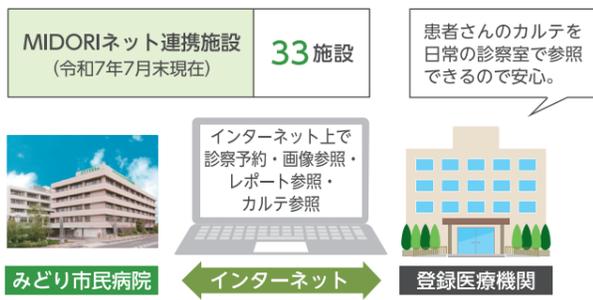
医療機関向け 地域医療連携ネットワークシステム MIDORI ネットのご案内

MIDORI ネットとは

当院の電子カルテと地域医療機関のパソコンをインターネットで結び、登録医療機関の先生方に当院における患者さんの診療情報を提供するシステムです。

MIDORI ネットの機能

- ① 外来診察・検査のオンライン予約  
外来診察枠や検査枠をオープンにしており、診療科の診察や検査予約を直接、お取りいただけます。
- ② 診療情報の共有  
患者さんの同意をいただき、カルテ情報や画像情報といった診療情報の閲覧が可能となります。



令和6年4月からMIDORI ネットを導入いたしました。予約の利便性を向上させ、患者さんの情報を共有することにより、地域全体で医療サービスを提供していきたいと考えております。MIDORI ネット接続のお手続きに関しましては、順次、進めておりますので、地域医療連携センターのスタッフにお申しつけください。

お問い合わせ 地域医療連携センター直通 TEL 052-892-1334 [平日 8:45 ~ 17:15]

Instagram も更新中!



@MIDORI\_NCU\_OFFICIAL

お知らせ 公式Instagram始めました。左記QRよりぜひご覧ください

各種イベントのご案内や行事食のご紹介はもちろん、疾患の話などお役立ち情報やキッチンカーの予定も掲載しています。月に一度更新される当院の浅野院長からの一言もご注目ください!



MIDORI REBORN



写真上:泌尿器科スタッフ 下:泌尿器科診察の様子

Contents

P1 MESSAGE

- 地域とともに、泌尿器の悩みに向き合う大学病院として 骨盤底手術について

P2 TOPICS

- 小児から高齢者まで、目のことならご相談を【眼科外来のご案内】
- 掌蹠膿疱症(しょうせきのうほうしょう) 専門外来が開始されました
- 造影CT・MRの共同利用について

P3 INFORMATION

- 地域との連携強化に取り組む薬剤部
- MIDORI ネットのご案内



地域とともに、泌尿器の悩みに向き合う大学病院として  
—女性泌尿器科を含めた診療体制をさらに充実—

開院から3年目を迎える中、医師会の先生方はじめ地域の皆さま方からの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

当院では、「地域貢献型大学病院」として、高度な医療はもとより、地域のニーズに応じた医療の提供をモットーとして悪性腫瘍等の治療から排尿障害まで幅広く対応いたしております。

排尿障害に関しては地域の先生方が中心となってお薬による治療を行っていただいておりますが、改善が得られない症例につきましては、当科での外科的治療が可能です。

具体的には、前立腺肥大症や膀胱瘤・子宮脱などの骨盤臓器脱に対し、体に負担の少ない内視鏡手術や腹腔鏡手術を積極的にいき、排尿トラブルの改善に取り組んでいます。

泌尿器科は「男性の科」とわれがちですが、今後は「女性泌尿器科」の診療体制をさらに充実させ、過活動膀胱や骨盤臓器脱に悩む女性も安心して受診できる環境を整えてまいります。

これからも地域の皆さまの健康と安心のため、信頼される医療を提供し続けてまいります。



泌尿器科部長  
河合 憲康

骨盤底手術について

骨盤臓器脱は膈から骨盤内の臓器である膀胱、子宮および直腸などが出てきてしまう病気です。出てくる臓器により「膀胱瘤」「子宮脱」「直腸瘤」と呼びます。ここでは当科で行っている手術治療について解説します。

項目	経膈メッシュ手術 (TVM)	腹腔鏡下仙骨膈固定術 (LSC)
手術方法	膈からメッシュ挿入	腹腔鏡で膈を仙骨に固定
麻酔の種類	下半身麻酔	全身麻酔
手術時間/入院期間	2時間/1週間	4時間/1週間
傷の場所	膈内(見えない)	お腹に小さな穴(数か所)
再発率	10~20%	3~5%
術後の生活	退院後3ヶ月間過度な負荷を避ける	退院後すぐに元の生活が可能
このような方におすすめ	高齢の方や長時間の手術が難しい方	若い方や全身の状態が良好な方 他の骨盤臓器脱の手術を受けて再発した方



小児から高齢者まで、目のことならご相談を [眼科外来のご案内]

地域の皆さまの「目の健康」を支えるため、当院眼科では小さなお子さまからご高齢の方まで、幅広い世代の診療を行っています。

糖尿病網膜症や緑内障の外来治療、眼瞼下垂症手術(1泊2日)や硝子体内注射などの治療も実施いたしております。

小児眼科にも力を入れており、斜視や弱視の治療のみならず、進行する近視を抑える治療薬である低濃度アトロピン点眼液の処方も可能です。

当院では専属の視能訓練士が常駐しており、視力検査や視野検査なども安心して受けていただけます。全身疾患をお持ちの方も、他診療科との連携により適切な眼科診療が可能です。

「目がかすむ」「見えにくい」などの症状は、加齢だけでなく病気のサインかもしれません。40歳を過ぎたら緑内障の検査を、そしてお子さまの視力低下には早期対応をおすすめします。

診療日	受付時間	備考
月・水・金	8:45~11:30	他院で治療中の方は、継続的な治療のため、可能な限り紹介状をご持参ください。



検査風景

掌蹠膿疱症(しょうせきのうほうしょう)専門外来が開始されました



掌蹠膿疱症の状態

今年度より当院皮膚科にて水曜日に金曜日に掌蹠膿疱症(しょうせきのうほうしょう)専門外来が開始となりました。

掌蹠膿疱症とは、手の平や足の裏に膿疱が数多くできる病気です。はじめは小さな水疱ですが、次第に黄色い膿疱に変化し、かさぶたが形成されるとともに角層がはげ落ちます。その際に赤みを伴うことも多く見られます。外用治療などで一旦よくなったと思っても、周期的に症状がぶり返し、慢性的経過をとることが多いです。水疱や膿疱からはウイルスや細菌は見つからず、現時点ではその他の免疫システムが関係する病気ではないかと推測されています。また、慢性的に経過する中で、突然、鎖骨や胸鎖肋関節などに疼痛を生じることがあります。強い痛みのために日常生活が困難になることや、放置すると不可逆性の関節変形などを生ずることもあり、適切な治療が必要です。

治りにくい手足の皮膚病変をお持ちの方がございましたら、ぜひ当院皮膚科への受診をご検討ください。

診療日	受付時間
水・金	13:30~15:00

医療機関向け 令和7年6月より共同利用にて造影CT・MRを開始しました

当院では、これまでCTおよびMRの共同利用においては単純検査のみ対応しておりましたが、令和7年6月より造影検査を開始いたしました。単純検査では判別しにくい小さな病変の検出や鑑別診断、治療効果の判定、血管の評価など多くの情報を提供します。

特に、単純検査では診断が難しい肝臓、胆嚢、脾臓、腎臓などの病変や血管病変(大動脈瘤、血管狭窄など)に関する有益な情報をもたらします。

低電圧造影乳腺CTは当院のスタッフにより開発された撮影方法で、乳がんの広がり診断において造影MRと同等の診断能であることが報告されています。

地域医療機関の先生方におかれましては、2管球CTおよびAI機能搭載MRと放射線診断専門医による共同利用を引き続きご活用くださいますようお願い申し上げます。

